

浪江で農業を始めませんか？

就農に関する相談を受け付けています



浪江町農林水産課では、町内での新規就農に関する相談を随時受け付けています。就農前の研修先や各種支援制度についてもご紹介することができます。各地での就農イベントにも参加していますので、ぜひお気軽にお問い合わせください！



パンフレット
ダウンロードはこちら



お問い合わせ／
浪江町農林水産課
TEL: 0240-34-0245

浪江フラワープロジェクトの
最新情報をホームページで！

これまでの花通信やアーカイブ動画を公開中！

<https://www.namie-flower.jp>



Facebookも
チェック

浪江町 農林水産課

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2

TEL: 0240-34-0245

<https://www.town.namie.fukushima.jp>



なみえ花通信

浪江の花作りと農業の最新情報をお届け！





今年もひまわりが咲き誇りました

全国的に酷暑となった今年の夏。浪江町のある福島県浜通り地域は海・山・川と大自然に恵まれ、福島県内でも温暖な気候の地域として知られていますが、今年の浪江町も太陽が燦々と降り注ぐ日々が続きました。そんな太陽の恵みによって、今年で3年目となる立野沢上地区のひまわり畑が咲き揃いました。このひまわり畑は、浪江町を花で彩ろうという地域の有志の方々によって植えられ、そして大輪のひまわりを咲かせるまでになっています。中には町外からこのひまわり畑の管理のために通っている方もいらっしゃいます。花で復興を合言葉にした浪江町。今後もさまざまな花で彩られることでしょう。

「なみえ花通信」では、花のニュースはもちろん、浪江町の新しい農業における明るいニュースもお届けしていきます。



広大なひまわり畑は圧巻の風景です



地域の人々の努力で育てられたひまわり畑は3年目を迎えました



ご家庭で楽しめて、みんなが優しく元気になる品種を奥様が選びました



出荷作業で大忙しの渡瀬さんご夫妻。丁寧な作業を心がけています



独立就農の渡瀬さんご夫妻、トルコギキョウ初出荷!

今年のお盆休み、浪江町の花農家さんはトルコギキョウの出荷真っ盛りでした。なかでも5月に独立就農し“なみえ花工房”を立ち上げた渡瀬さんご夫妻は初のトルコギキョウ出荷がよいよ始まり、大忙しの毎日を過ごされました。「今回の出来は80点。それでもここまで来れたのは、Jin ふる～る 川村さん、清水さんはじめ先輩たち、そして浪江町役場はじめ皆様のご協力のおかげです」と語る渡瀬さんご夫妻。しかも、初のトルコギキョウは東京の花市場でなんと“最高値”をつけました。「浪江町の花農家さんが続けてきた“浪江ブランド”のおかげですよ。浪江の花なら高品質だと市場の方々が安心しているのでしょうね。私たちはそれに乗っかっただけです」と謙遜気味のコメントですが、本当に素晴らしいトルコギキョウが出荷されています。今回出荷したトルコギキョウの品種は全て奥様が、ご家庭で飾ることを意識して選んだとの事。浪江のトルコギキョウが家族団欒を彩って欲しいと願っているそうです。

Flower
News
Aug, 2022

農業体験の大学生からヒントを。 “荒川園芸” ロゴマーク完成

2018年から浪江町でトルコギキョウ作りをはじめた、“荒川園芸”の荒川勝己さん。5年目となる現在はトルコギキョウ、ストックをメインにさまざまな花作りにチャレンジしています。

一方、大学生の視察や農業体験、旅行ツアーなども積極的に受け入れて、ご自身も多くの刺激を受けてきたそうです。ある時、農業体験に来た東京の大学生から「作り手の顔が分かるって買い手にとっては安心の材料だと思います。だから、もっと荒川さんの思いが伝わるような、花のブランディングをして、他の産地と差別化をはかった方がいいと思います」と提案を受けたそうです。若い発想を受け取った荒川さん、早速「まずはロゴマークを作ってみよう!」と思い立ったそうです。こだわったのは「浪江の花」と「生産者の顔が見える」こと。浪江町に来た学生との交流で生まれたロゴマーク入りの花束は、道の駅なみえで販売中。ぜひチェックしてみてください。



就農スタイルだけでなく、浪江町での暮らしについてなど、多くの質問がよせられました



ご自身の顔をモチーフにしたイラストが入ったロゴマークを手にする荒川さん



道の駅なみえで荒川園芸のマークを見つけてください



新規就農者集まれ! マイナビ農林水産FEST in 仙台

8月28日、「自然と生きる。自然と働く」をテーマに“マイナビ農林水産FEST”が仙台市で開催されました。農・林・水産業（一次産業）への就職、転職を検討している方々向けのイベントで、宮城県、福島県、山形県、岩手県などから全14団体（官公庁、民間企業等）が窓口となって来場者の移住就農等に関する相談を受けました。当日、浪江町役場もブースを出展。平成30年以降の新規就農実績や市場で高い評価を受けているトルコギキョウ栽培、さらに浪江町での生活、支援体制などについてPRさせていただきました。また今回のイベントには浪江町役場ブースとは別に、“福島県酪農業協同組合”が令和7年完成予定である研究・研修機能を備えた最先端大規模牧場「浪江復興牧場」に関するブースが出展、浪江町役場ブースと共に地域全体での就農への取り組みも紹介させていただきました。相談内容は独立就農、雇用就農、農業研修など様々ですが、各ブースを回って、自身に見合った就農スタイル等を模索していたようです。今後も浪江町としては、福島県、関連団体と連携しながら、こうした活動を通じて就農PR、農業振興に努めていきます。

What's new? 浪江の旬な情報をお届け!

What's
new

夏休みは浪江でインターン!

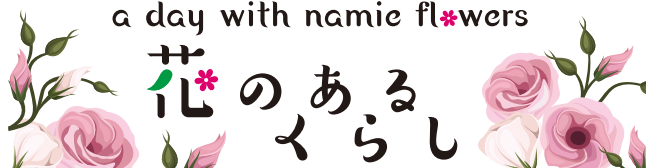


夏休みを使って、浪江町では東京農業大学の学生を中心に多くの農業視察・体験などの農業インターンシップが実施されました。

花農家をはじめ、エゴマ栽培のほ場などで、実際に行われている農作業を地域の皆さんと一緒に汗をかきながら行いました。参加した大学生の共通点として「地域のために、浪江町のために、福島のために何かできないか」という想いをもって参加している学生が多く、インターンシップを受け入れたエゴマ栽培の“石井農園”石井絹江さんは「慣れない作業で大変な中、つねにメモをとったり、質問をしてきた学生の皆さんの本気度がとても高く、本当に地域の役に、浪江の役に立つために学びたい、体験して成長したいという想いが伝わってきました。私たちが若い人たちの考えや発想を聞く事ができ、有意義なものになっていると思います」と話していました。

こうした取り組みにより蒔かれた種がいずれ発芽し、大きな実りをもたらすように、浪江町の農業と学生たち双方にとって実り多いものなることを期待し、今後とも継続していきたいと思っています。

a day with namie flowers



今年度のなみえ花通信では、季節に合わせて“浪江町の花”を使ったフラワーアレンジメントをご紹介します。春夏秋冬さまざまな楽しみを!ご自宅でもトライしてみてください!



テーマ“花木で軽やかに”

フラワーアレンジメントでは、最近、花木は脇役ではなく主役になってきています。今回は浪江町でも栽培されている花木を使ったアレンジメントをご紹介します。上手に使えば都会的で洗練された雰囲気。ぜひチャレンジしてください!
花材:トルコギキョウ、ユーカリ、ロシアンオリーブほか。



ユーカリは動きがあつて軽やかな雰囲気を出すことができます。花を包んでふわつと広げるのがポイント。



小野田ファームの花木です!

花木を提供してくれたのは、浪江町で花木栽培をメインにしている“小野田ファーム”さん。使い勝手が良く、持ちちがよいユーカリは、これから秋にかけて出荷も増える人気品種とのこと。ぜひ使ってみてください。

講師: フラワーコーディネーター 近美豪人
北京花博2019 福島県ブースプロデューサー。
有限会社 花のチカミ代表。日花協全国大会優勝、
JFTD Japan cup準優勝、World cup日本代表
選考会出場など、数々の大会で入賞を果たす。

